

屋内活動

プログラム名（コース名）	ジェルアート ※団体主導			
概要	浜名湖で拾った貝殻を使って、カラーサンドで飾り付けを行い、オリジナルの作品を作る。			
ねらい	貝殻を使って、創造する喜びを味わうことができる。 創意工夫をして、オリジナルの作品を完成させることができる。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～200人（2人以上）
	活動時間	60～90分	活動時期	通年
	活動場所	研修室等	費用	1個500円
	下見	不要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）筆記用具、貝を拾いに行くときの帽子、合羽 （団体）貝を拭く用のタオル			
安全上の留意点 （具体的な対策方法）	割れたガラスや貝殻によるケガ（道具の取扱いに注意する） 火傷（クリアジェル加熱時、IHヒーターの周りに近づかない） 砂などが目に入る、誤飲			

活動内容（手順）

事前①指導者配置の決定：製作手順の説明、巡視指導、研修生への指導

②実施方法の決定：活動時間・休憩時間の設定、製作する数量

③研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物を確認

活動前①確認事項：人数、健康状態、貸出備品、準備

活動①指導：指導者より

②活動開始：作り方については裏面「ジェルアートの作り方」を参照

・湖岸で貝殻を拾う。可能であれば前日までに拾っておき、洗ってよく乾かしておく。

※雨天時は青年の家にある貝殻を使用するが、貝殻が拾える時間があれば拾って返す

※貝殻をさわった後は、石鹸できれいに手を洗う

・ガラスに砂を入れて空気を抜く。

・貝殻やビー玉など砂の上に飾り付けをする。

・ガラスに名前を書いた付箋をセロハンテープで貼る。

・ジェルを注いで固まったら完成。

※ジェル入れは所員が行う

※退所日の活動の場合、ジェルが固まるまでの時間（60分程度）を考慮しないと当日持ち帰れない場合がある

（全員分固まらなければ後日受け取りにきていただく）

③確認事項：人数、健康状態

④振り返り：活動の感想を発表

⑤片付け：備品の返却と確認、活動場所の原状復帰、清掃

（※備品の片付けは所員も一緒に実施、担当所員へ声掛けをする。）

⑥報告：所員へ活動終了と、研修生の健康状態を報告

ジェルアートの作り方



1

活動備品①



3

活動備品②



4

事前に貝を拾いに行く

- ① 湖岸で小さめの貝を拾う ※軍手を着用する。
- ② 拾った貝を艇庫東側の水道で洗いタオルで水気をふき取る。



4

カラーサンドを入れる



- ※1度グラスに入れた砂は戻さない。
- ※タンパーの中に入っているスプーンでそれぞれ砂を入れる。
- ※スプーンでグラスの中の砂を混ぜない。
- ※新聞紙を下に敷く。

5

コップの底を軽く叩いて空気を抜く



- ※砂の間の空気をしっかり抜かないと、ジェルを注いだ時に気泡が発生する。

6

飾りつけを行う

- グラスの中には (・拾った貝・ビーズ1個まで・スポンコール3枚まで・小さい貝3個まで) を飾る。



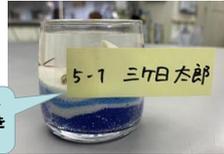
- ※コップからはみ出さないようにする。
- ※貝に字や絵を書いてもよい。

7

完成したグラスを所員に渡す

- 付箋にクラスと名前を書き、グラスに貼る

- 付箋を外れないよう、セロテープを上から貼る



- ※ジェル入れは所員が行います。

8

片付け、注意喚起のお願い

- 使用したマジックペンの片づけをする
床に落ちた砂等を拾い、ゴミ箱に捨てる



- ※加熱したジェルは高温になるため、近づかない、触らないよう声掛けの実施をお願いします。

9

ジェルが固まったら完成



- ※固まるまでの目安時間(約60分)

10